

令和4年5月12日

社会福祉法人 函館一条
利用者・保護者・関係者各位

「ワークス一条」における、新型コロナウイルス感染者発生に関して

5月11日に、社会福祉法人函館一条が運営する通所事業所 ワークス一条において、利用者1名に新型コロナウイルス感染が確認されました。

経緯をご説明しますと、当該利用者は、5月9日（月）、10日（火）とワークス一条へ通所し、プレハブにて昆布加工作業を行っておりました。10日（火）に送迎車両で帰宅後に喉の痛みを訴え、37.5℃の発熱がありました。翌朝36.6℃に熱は下がり、念のため通院して抗体検査をしたところ、陽性が判明しました。その後、当該利用者は発熱・咳等の症状もなく落ち着いて過ごしておりますが、保健所より10日間の自宅療養との指示を受けています。

ワークス一条としましては、11日（水）午後にワークス利用者に感染者が発生したとの連絡を受け、12日（木）、13日（金）、14日（土）の3日間、閉所することにしました。また、すぐに利用者の全ご家庭に電話連絡し、できる限りの情報を伝えております。11日の夜と12日（木）に事業所内の消毒を行い、12日（木）にワークス一条全職員のPCR検査を実施しています。

社会福祉法人函館一条では、今後も速やかに情報をお伝えしていきます。改めて利用者、ご家族の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

次々と状況が変わり、予断を許さない感染拡大の情勢の中で、誰もが感染者、濃厚接触者となる可能性を等しく持っております。

当法人としましては、今後も感染者・濃厚接触者となった方やそのご家族、地域の方々の安全と健全な生活を支えるためにできる限りの努力をさせて頂く所存です。

このたびの感染者・濃厚接触者の発生に関するいわれなき差別や誹謗中傷、いたずらに個人情報を探る行為等は是非とも慎んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人 函館一条
理事長 尾形 永造

ワークス一条
管理者 佐藤 寿晴